



土木科 3年 組 番 氏名		記入日 令和 年 月 日	
科目	課題研究 (測量班)	目標	これまで学んだ土木の知識・技能を活用し、地域に貢献できる資料・教材作りを通して実践力や資質・能力を身に付ける。

★今回の活動に対し、どのように取り組みたいか書きなさい。(資質・能力を自己分析し目標を書くこと)

☆☆学習活動の評価基準です。自分の目標を定めて活動に臨んでください。☆☆

		5	4	3	2	1
人間関係形成・社会形成能力	主体性 物事に進んで取り組む力	自分の役割に意義を見出し、他者のため、グループのために貢献できる。	自分にできることや能力を活かせるような役割や課題を、自発的に探し出すことができる。	与えられた課題や、決められた役割の範囲の中で、自分にできることや能力を活かすことができる。	自分にできることや能力を自覚できている。	自分に何ができるのかを把握していない。
	働きかけ力 他人に働きかけ巻き込む力	周囲の人を動かして目標を達成する行動力をもっている。	他者に協力することの必要性を伝えることができる。	他者と協働して課題に取り組もうとしている。	課題に取り組もうとはするが、他者との協働が十分にできていない。	他者に関わろうとせず、課題に対する関心も不十分である。
	発信力 自分の意見をわかりやすく伝える力	相手の理解度を確認しながら、それにあわせて柔軟に表現を調整し、自分の意見や気持ち・感情を明確に伝えられる。	具体的な例や根拠をあげながら、自分の意見を論理的に伝えられる。	自発的に相手に自分の意見を伝えることができる。しかし、具体性や論理性が不足している。	自分の意見は明確になっているが、他者に伝えることを控えてしまうことが多い。相手がよく耳を傾けてくれたり、適切な問いかけをしてくれる場合には、自分の意見を伝えることができる。	自分の意見が明確になっておらず、何を伝えていいのかわからない。
	傾聴力 相手の意見を丁寧に聴く力	適切に問いかけたり、対話したりすることを通じて、相手から新しい気づきや着想をひきだすことができる。	相手の意見に耳を傾け、その意見内容ばかりではなく、その背景にある価値観や心情も理解できる。	相手の意見に耳を傾け、相手の視点に立つてもものごとを考えることができる。	相手の意見に耳を傾け、自分の視点から解釈することができる。	相手の意見に耳を傾けようという努力をしない。
	柔軟性 意見の違いや立場の違いを理解する力	自分とは異なった価値観を持つ他者とともに、共有できる理念や目標を見つけ出し、協力しあうことができる。	自分の意見を主張するばかりではなく、相手の意見を尊重しながら説得できる。	自分と他者の意見の共通点や相違点を見つげられる。	自己の主張にこだわり、他者の意見を聞こうとしない。	初対面の相手に対して、自分から声をかけることができない。
課題対応能力	課題発見力 現状分析し目的や課題を明らかにする力	自分自身が意義や価値を見出し、意欲的に取り組めるような問題点や疑問点を見つけすることができる。	自分がいま取り組んでいる課題にとどまらず、自発的に新しいものごとに目をむけて興味関心の幅を広げて、新たな問題点や疑問点を探そうとする。	自分がいま取り組んでいる課題のなかから、問題点や疑問点を探し出すことができる。	いくつかの問題点や疑問点を選択して与えられれば、その中から取り組んでみたいものを選ぶことができる。	自分がどんな疑問や興味関心をもっているのかわからない。どんなことに取り組みたいのかわからない。
	計画力 課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	進捗状況や不測の事態に合わせて、柔軟に計画を修正できる。	常に計画と進捗状況の違いに留意している。	作業に優先順位をつけて、実現性の高い計画を立てられる。	他から与えられた計画を受身的に消化する。	無計画にものごとを進めようとする。
地域社会発展に必要な能力	地域貢献力 資料・教材作り、ボランティア活動等で地域に貢献。	地域貢献の意義を理解している。また地域に貢献する高い勤労観・職業観や実践的な技術・技能を身に付けており、新しいアイデアを出すことができる。	地域貢献の意義を理解し、主体的に活動に取り組み、実践的な技術・技能を身に付けている。	地域貢献の意義を理解し、実践的な技術・技能を身に付けている。	地域貢献の意義を理解しているが、基礎的な技術・能力が不足している。	地域貢献について興味・関心がない。
	ものづくり力 確かな技術者を目指す。	工業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を身に付け、グローバル化に対応できる人材について理解している。	将来のスペシャリストに必要な技術・技能について理解しており、基礎的な技術・技能について習得している。	望ましい勤労観や職業観を理解しており、工業の各分野に関する基礎的・基本的な技術・技能を習得している。	望ましい勤労観や職業観を理解しているが、基礎的・基本的な技術・技能が身に付いていない。	ものづくりについて興味・関心がなく、望ましい勤労観や職業観も理解していない。
	未来・創造力 地域の復興発展に努める。	複数のアイデアを統合したり、組み合わせたりすることによって、さらに創造的なアイデアを数多く生み出すことができる。	ひとつのアイデアをさらにふくらませたり、発展させたりすることができる。	自分の日常的な考え方や視点にもとづいて問題を検討し、自分らしいアイデアをだすことができる。	問題に対して、いくつかのアイデアを出すことができるが、他者からの引き写しの範囲を抜け出さない。	問題に対してアイデアをだすことができない。

★今回の活動を振り返り、今後の活動で注意する点を書きなさい。

★担当の先生からのアドバイス
